

新たな総合計画の策定方針

I 計画の概要

1 計画の趣旨

徳島県を取り巻く環境が大きく変化する中、県民一人ひとりが自分の希望に向かっていきいきと働き、安心して暮らしていくことのできる社会を実現していくための羅針盤となる新たな総合計画を策定する。

2 計画の内容

徳島県を取り巻く環境の変化を捉えるとともに、徳島県の現状や課題を的確に把握した上で、

- ・「2050年頃の目指すべき目標・将来像（長期ビジョン編）」を描き、その未来を実現するため、
- ・「10年程度先を見据えた基本政策の方向性（中期プラン編）」、及び、
- ・「今後4年間の主要施策（行動計画編）」を定める。

II 策定手法

1 県民意見の反映

徳島の未来の姿を共有し、ともに希望あふれる徳島を創るため、明日を担う若者の意見を積極的に取り入れる。そのため、SNSの活用やシンポジウムの開催などにより広く意見を聴き、県民の意向を計画に反映する。

2 大学との協働

徳島県を取り巻く環境の変化、徳島県の現状や課題を捉えるに際しては、専門的知見が必要であることから、包括協定等を締結する大学の協力を得る。また、若者意見聴取にあたっては協力いただく。

3 総合計画審議会

計画についての意見や提言を求め、その意見や提言を反映し策定する。特に、「宝の島・とくしま創造部会」には審議の中心を担っていただく。また、「若者クリエイティブ部会」には、若者意見の聴取などを担当していただく。

4 県議会

県議会と理事者が両輪となって計画の策定を進める。議会での論議はもとより「全議員勉強会」の開催など意思の共有を図る。

5 庁内策定体制

庁議等を通じて各部局との連携を図りながら策定する。また、新たな「プロジェクトチーム」を立ち上げ、計画策定作業を進める。